

④ 戦後の日本思想

(1) [1] 真男

1 日本のファシズムを批判

… 天皇中心の超国家主義 ∴ 国民が近代的個人でなかった
→ 西洋的近代化の徹底を主張

cf. 『[2]の思想』… 日本人は、全体主義や権威主義に弱い

2 『[3]思想史研究』

… 江戸期の儒学や国学に、日本独自の近代的精神の芽生えがある
∴ 日本は、西洋の近代思想の受容だけで近代化したのではない

(2) [4] 秀雄

— 西洋文化の研究を通して、日本を再評価

ex. 日本語の大切さ

→ 伝統文化の重視を主張

(3) グローバル時代の日本思想

cf. [5]主義（文化一元主義）= A と

[6]主義（文化多元主義）= B の両立

∴ Think globaly , act localy . の「グローカル」な生き方

A = 人類に普遍的な価値の実現のために

民主主義、人権、共生社会 etc.

B = 日本の個別的な価値を活かす

アイデンティティや持ち味（自然への感受性 etc.）

第四章 西洋思想

1 人間の尊厳

① 近代人の自覚

(1) [7]

1 本質 = [8] (ユマニスム)

フランス語

… 人文主義（古典研究）、人間中心主義

2 意義

… 文芸復興（古代ギリシア・ローマ文化）、人間性の再生、合理主義

3 イタリアで開始

a [9] (13・14C) 『[10]』

b [11] = デラ = ミランドラ (15C) 『人間の[12]について』

— 人間は自由意志によって創造主にもなりうる

4 [13]人 ex. [14] = ダ = ヴァインチ

a ルネサンスの理想的人間像

b 「神に近づくことも、逆に獣に近づくこともできる」（ピコ）

∴ すぐれた能力を完全に実現できる（可能性）

MEMO etc.